

令和2年11月15日(日)に高岡方面団秋季訓練 令和3年3月14日(日)に高岡方面団春季訓練が開催されました。

全国統一標語『その火事を防ぐあなたに金メダル』

規律訓練・表彰式 高岡消防署庁舎前にて火災防ぎょ訓練川原町地内

秋晴れのもと、令和二年高岡方面団の秋季訓練が実施されました。例年であれば人員検閲、分列行進、住民参加の火災防御訓練を実施しておりますが、「コロナ感染対策」のため規模を縮小して執り行われました。

成美分団から、団員の鷲北明紘さんが高岡市優良表彰を受けられました。これからの一層の活躍を願います。

消防署での検閲訓練の様子



栄えある表彰

令和二年十一月十五日表彰

高岡市長表彰

五年勤続

団員

鷲北

明紘

栄えある表彰

令和三年三月十四日表彰

県知事表彰

十二月以上無火災表彰

成美分団

富山県消防協会会長表彰

功績黄花章

三十五年勤続

団員

慶寺

長造

日本消防協会会長表彰

勤続章

三十年勤続

団員

栗田

実

団員

吉田

英喜

新成美分団長のご挨拶

高岡市消防団 成美分団分団長 折本 寛之



昨年四月一日に分団長を拝命し強い使命感と責任を感じています。また、成美分団に対しまして日頃よりご支援とご協力をいただいておりますが、コロナ禍の影響ではほぼ全ての行事が中止となり、成美校下連合自治会・各種団体の皆様をはじめ地域の皆さまにお礼とご挨拶ができておりませんこととお詫び申し上げます。

さて、我々消防団では、災害出動はもちろんのこと、防災に対する啓発活動、毎月2回の定例会及びポンプ車での校下巡回活動、春と秋それぞれの個別訓練・検閲訓練・火災予防週間・年末年始の警戒活動、一年の始まりとなる出初め式なども感染拡大防止に努め工夫しながらの活動となっております。

年頭の大雪の際にも、地域の皆さまのお声掛けや自発的な除雪活動、機械力での排雪など住宅密集地での素晴らしい姿であったと思います。我々成美分団も熊野町1・2丁目自治会の皆さまの助けを頂きながら、分団車両置場敷地の除雪や消火栓の確保など降雪時の活動も行っていました。

最後となりますが、地域の皆さまのご支援ご協力のもと消防団として団員一同で地域の安全のために活動してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

令和2年4月1日に

高岡市消防団高岡方面団長に元成美分団長の室谷明雄さんが昇進され
前成美分団長の橋本米暁さんが高岡方面副団長に就任されました。

消防団員の地域防災にかける使命感

高岡市消防団高岡方面団長 室谷 明雄

地域の皆様には日頃より消防団にご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨春のコロナウイルス感染症拡大により、我々消防団も感染拡大防止の為に様々な行事や訓練の中止、縮小といった処置を取ってまいりました。とはいっても火災や風水害時の出動、クマ、イノシシの出没時の警戒広報、行方不明者の捜索など様々な場面で出動しております。年明け早々の大雪の際も、火災発生に備えて団員総出で消火栓の除雪に回りました。そうした活動を支えているのは、「自分たちの街は自分たちで守る」という強い使命感です。分団の素晴らしい先輩方から脈々と受け継がれてきた地域防災にかける熱い思いが、団員を動かしているのです。若手団員が不足している今日、全国で発生している大災害を見るにつけ、我々の郷土を守る熱い思いを持つ若い世代が育ってほしいと、心底願う次第です。消防団員への仲間入りを、どうぞ宜しくお願い致します。

室谷明雄高岡方面団長 略歴



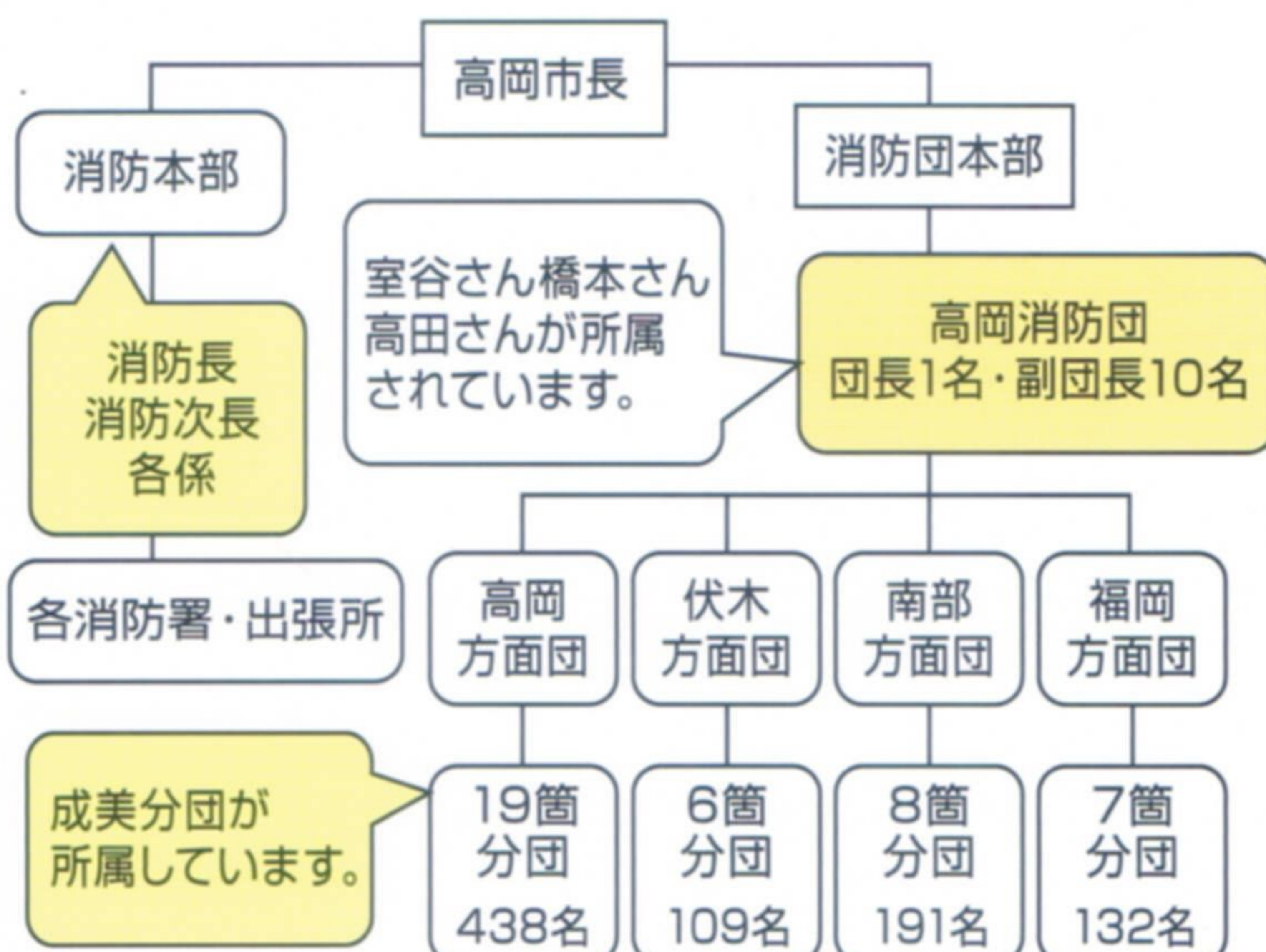
昭和51年8月1日入団
平成23年7月1日成美分団長に昇進
平成27年10月1日に高岡方面副団長就任
令和2年4月1日に高岡方面団長昇進
現在の職業 自営業

橋本米暁高岡方面副団長 略歴



昭和60年2月1日入団
平成27年10月1日成美分団長に昇進
令和2年4月1日高岡方面副団長に就任
現在の職業 自営業

高岡市消防組織図



高岡市消防団は高岡市長のもとに団本部があり、消防団は4つの方面団が組織され、成美分団は高岡方面団に属しています。

高岡方面団には室谷明雄さんと橋本米暁さんが所属されております。

また各方面団にはそれぞれ1箇の女性分団が設けられており、4人の女性分団長を取りまとめる女性副団長として、大坪町に在住の高田千晶さんが就任されておられます。

(高岡市消防本部は消防長、消防次長、各係の基に高岡・伏木・戸出・福岡の各署があります。)

成美分団ホームページ
QRコード



成美分団ホームページ
<http://seibi-bundan.main.jp/>

フェイスブックのアカウントを開設しました。

現在成美分団ホームページもごさいますが、「成美分団の今」を知っていただくために、フェイスブックに活動状況や防災に関すること、その時々感じたことをアップしてきます。

成美分団が皆様にとって身近な存在として感じて頂けると思います。

令和2年4月1日に今村裕二さんが班長に昇進されました。消防団に入団したきっかけ、今後の抱負を語っていただきました。



★入団したきっかけは？

地元の地子木町の幼なじみが成美分団員に入団していて、誘われたことで入団しました。

★仕事と分団活動の両立について

会社員なので勤務中の火災出動はなかなか難しいことがあります。休日や勤務時間外に出動要請があった時は他の人と現場へ向かいます。

その他に訓練や消火栓の点検、月2回の消防車による校区の巡回警戒を行っています。

消防操法大会の練習のサポートを2か月にわたって行っています。

★成美校区のみなさんへ一言

現在分団員に欠員がありますので、見学でもよいので成美分団に来てください。

最後に一言、「分団員には熱くて面白い人がたくさんいるのでいっぺん見に来られ。」

成美分団の団員募集！

団員の定員が3名足りていません。自分達の住む成美校区を守るとい志のある方は是非ご連絡ください。

毎年1月1日年明けと同時に、熊野神社にて「無火災祈願」を行っています。



階級	氏名	自治会名
階級	氏名	自治会名
分団長	折本 寛之	上桶屋町
副分団長	馬場 裕一	羽衣町
部長	慶寺 長造	地子木町
部長	栗田 実	縄手町
部長	吉田 英喜	開発本町
部長	細呂木 勉	地子木町
班長	橋田 弘嗣	大坪町三・四丁目
班長	鷺北 稔	地子木町
班長	関 尚弘	塩倉町
班長	室谷 英夫	縄手町
班長	今村 裕二	レジデンス新成
班長	井波 大介	明野町
班長	林 靖浩	開発本町
班長	池崎 智幸	開発本町
班長	江淵 元将	熊野町一・二丁目
班長	越井 賢一	向野町
班長	村谷 諭志	地子木町
班長	樋口 順彦	新成町
班長	谷 知洋	開発本町
班長	佐野 博保	油町
班長	鷺北 明紘	木町
班長	山口 泰祐	油町

団員紹介

一備えあれば憂いなし<水害>一

成美分団班長 室谷 英夫

最近、地震をはじめ台風、洪水、土砂崩れなど様々な自然災害が各地で頻発しています。

火災や地震のような突発的に起こる災害以外はある程度予測が可能だと思われませんが、その中で可能性の高い大雨による水害、私たちが住む校下に馴染みの深い小矢部川水系の千保川の氾濫が気になるところです。

私がこちらで住まいを始めてから約30年になりますが、今までに一度近くの公園や低い道路などが冠水したことがあります。大雨によって増水した中、さらに満潮時間も重なって川の流れは緩やかでしたが徐々に水かさが上がってきたのを覚えています。



「こくじょうはし」橋詰堤防の水位表示

近年の雨の降り方はその頃とは比較にならないくらい猛烈で長時間にわたって続き各地で甚大な被害が起きています。そしてこの地域も例外ではありません。

突然の災害に対応できるよう、また被害を最小限に抑えられるよう日頃から災害に対する意識と心構えが必要だと思しますので、まずは自分の居住地域の現状把握から始めてみてはいかがでしょうか。

例えば国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」等（アプリ）を活用すると河川氾濫時や津

波による浸水想定区域、河川水位情報が載っていますので大雨の時などの避難の準備（避難経路の想定、避難のタイミング）に役立つと思います。



こと災害時においては消防団員の活動はどれだけ頑張ったところで限界があります。

それよりも日頃から災害が起きることを想定し、有事の際にどのような行動をとれば良いのかシミュレーションすることが何より重要です。自主防災組織が結成されている自治会も徐々に増えてきておりますが訓練の進め方や知識習得については是非、消防署、消防団を活用していただきたいと思えます。また、家族で避難場所、避難経路、持ち出し品など、もしもの事態に備えてどのような準備、行動をとれば良いのか話し合うのもいいですね。そして自分の身は自分で守る、近隣住民とも互い助け合い、被災を最小限に抑えることが大切かと思えます。

私たち成美分団員は、火災消火はもとより防災、減災のために日々活動、並びに訓練を行っております。団員構成は自営業、サラリーマン、定年退職者など様々ですが、如何せん人手が足りない状態がずっと続いております。自分たちの町は自分たちの手で守りたいという方は大歓迎です。性別年齢（18歳以上の女性や学生もOK）は問いませんので是非ともご連絡ください。

そして各自治会長の皆様！この記事を読まれて『おい、おらっちゃんの町内ちゃ誰も分団員おらんさかい誰か推薦せんなんの・・・』という思いになっていただければ幸いです。

偶感拙話

「さしこ」は発行しなかった年もありましたが今回で16号となりました。「さしこ」は元分団員の幸正哲さんが中心となり平成5年6月1日に創刊され現在に至っています。しかし時も変わり、情報伝達の手段も「ソーシャルネットワーク」が主流となってきており、それに対応するために「広報」担当を増員して若い団員を中心に5人体制で頑張っていくという事になりました。成美分団はこれからも「さしこ」、「ホームページ」、「フェイスブック」にて情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします。